



ICTビジョン懇談会 中間報告（案） （全体の構成）

2009年3月16日

ICTビジョン懇談会

- ・我が国は世界最高水準のブロードバンドサービスが安価に利用できるが、ICTの利活用は諸外国に比べて立ち遅れており、国際競争力も急速に低下。
- ・現在の経済環境下において、ICT関連投資による景気の下支えという短期的効果と未来志向のICT関連投資の加速化・前倒しによる中長期の成長力の強化に積極的に取り組む必要。

「先進的知価創造立国」(デジタル日本)への転換

➤ソフトパワーによる産業構造の变革

ICTの徹底活用により産業構造のスリム化を図るとともに、ソフトパワーを活用した高付加価値型の製品・サービス群を間断なく生み出す環境を構築。

➤先進的知価創造立国への転換

産業構造の効率性向上、新産業の創出により、国民一人ひとりが豊かさを実感できる社会を実現。知識集約型産業が主導する「先進的知価創造立国」への転換を目指す。

「先進的知価創造立国」へ転換するための三大目標

目標1:国民がICTの真価を実感できる環境の実現

ICT革命が真価を発揮するためには、「いつでも、どこでも、何でも、誰とでも」つながる「スマートユビキタスネット社会」の実現が不可欠。ICTの持つ「つながり力」を活かし、人々の社会経済活動を下支えすることで、国民がICTの真価を実感できる環境を実現。

目標2:ICTファンダメンタルズの強化による国際競争力の向上

国際競争力を持つデジタル新産業や、業態を超えたシナジーの創出、クリエイティブ産業の育成等を図るべく、研究開発の強化や知価創造力が最大限発揮される環境整備を実施。日本の技術力を最大限活用し、ICT産業の総合的な国際競争力の向上を実現。

目標3:ICTによる新経済成長の実現

「先進的知価創造立国」へ転換するため、革新的技術を徹底活用し、集中的にICT関連投資を促進する「ICTニューディール」を進める。我が国の持つICTの底力を発揮し、「問題解決先進国」として中長期的な経済成長を実現。

国民がICTの真価を実感できる環境の実現

革新的電子政府の構築

- ①革新的技術を活用した電子政府の抜本的な効率化
- ②行政のワンストップ化等による行政サービスの向上
- ③政府情報の徹底活用と民間開放による行政の透明性の向上
- ④我が国が誇る文化・知識へのアクセシビリティの向上
- ⑤電子政府等の実現に向けた推進体制の抜本的な見直し

重点分野におけるICT利活用の推進

- ①「ICT医療特区」による医療サービスの質の向上
- ②「ICT教育特区」による教育の質の向上
- ③ICTを徹底活用した農業の活性化

地域ICT連携基盤の構築

- ①地域住民がICTの真価を実感できるユビキタスタウン構想の推進
- ②ICTによる地方中小企業等の活力発揮
- ③地方公共団体の電子化推進による住民サービスの向上

先進的デジタルネットワークの構築

- ①デジタルデバイドの解消、②地上テレビジョン放送の円滑実施のための施策展開

ファンダメンタルズ強化による国際競争力の向上

デジタル新産業の創出

- ①電波の有効活用による新産業創出、②新産業を創出するための革新的技術開発の加速化、
- ③オープンイノベーションの創出、④高度ICT人材等の育成強化、⑤ネットワークの安心・安全の実現

クリエイティブ産業の育成強化

- ①コンテンツ発信力の強化による地域活性化、②コンテンツ配信経路の多様化によるコンテンツ市場の拡大、
- ③コンテンツ取引市場の形成、④社会経済活動のコンテンツ化の促進

ユビキタス・グリーンICTの開発・展開

- ①ICT分野のグリーン化の推進、②ICTを活用した環境対策の実効性向上施策の展開

ICT産業の国際競争力の強化

- ①ICTによる相手国の問題解決の加速化、②デジタルシルクロード構想の推進

先進的知価創造立国への転換による新経済成長の実現

(現在100兆円の市場規模を2015年頃を目処に倍増(新規需要の創出))

引き続き検討すべき課題

○国際競争力向上に向けた環境整備の在り方

我が国のICT関連企業のグローバル展開を支援するため、アジア、中東、アフリカなどとの連携やグローバル活動経験のある企業OBの戦略的活用、支援体制の構築等、ICT関連企業の国際競争力向上に向けた環境整備の在り方を検討。

○電波有効利用方策の推進

今後成長が期待される電波利用システム・サービスを円滑に実現するための環境整備や、新たな電波資源や周波数有効利用技術に関する研究開発ロードマップの策定等、電波利用のさらなる推進とその社会的効果を検討。

○インターネットガバナンスの在り方

「安心インターネット」実現のための課題整理や対応策、「インターネット管理体制」の在り方、著作権運用の在り方を含む「サイバー空間ルール」の在り方等、多角的な観点からのインターネットガバナンスの在り方を検討。

○クリエイティブ産業の育成強化

従来型コンテンツとは制作主体等が異なる新たなコンテンツ、その流通基盤となるメディアに関する多角的な議論と整理。コンテンツ制作や発信力を支える人材の在り方を検討。

○地球規模の課題へのICTの貢献策の在り方

水資源、食糧不足、宇宙・海洋開発といった地球規模の課題に対する我が国のICT産業の貢献策を検討。

○クラウドコンピューティングに関連した環境整備の在り方

複数クラウド間の相互運用性の確保等、クラウドコンピューティング関連の技術的検証、標準化などの環境整備の在り方、「情報安全保障」を確保する観点から国際的ルールとして確立すべき事項を検討。

○問題解決型の制度見直しの推進

ICTの利活用を想定していない制度を洗い出し、その見直しを図ることにより国民が得られるメリットを明確化。制度的問題の解決に向けて関係府省が一体的に取り組むための体制整備や行動計画の策定などの方向性を検討。

○諸外国との連携の推進

ITU、OECD等の国際機関をはじめ、国際的なルールの在り方についての議論を進めていくための各国間連携の推進策等について、引き続き検討。

今後の検討の進め方

○ ICTビジョンの全体像を示すべく、引き続き、議論を深めていく。

○ ICTビジョンの推進体制、推進状況を評価するためのわかりやすいベンチマークの設定の在り方などについても、あわせて検討。